

学校だより 志

「チームワークを大切にした教育」



令和5年度 No.33

令和6年1月15日

郡山市立小山田小学校

文責 校長 佐久間 誠

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

11 住み続けられるまちづくりを



17 パートナシップで目標を達成しよう



小山田地域の交流会より

令和6年がスタートして、一週間が過ぎました。13日には、小山田地域の様々な団体の方が集まり、地域の連携を深めるための小山田地域の交流会が行われました。その中で、二つのうれしいお話をいただきました。

一つ目は、登下校の仕方についてです。

見守り隊の方々だけでなく、様々な団体の方が、子どもたちの登下校の様子を見守ってくださっていました。「朝、家の前を掃除しながら、子どもたちの様子を見ています」「買い物のときに、子どもたちの帰りの様子を見ています」など、多くの方々に、子どもたちの様子を見ているというお話をいただきました。子どもたちの安全を、地域で守っていこうという思いを強く感じました。

二つ目は、あいさつについてです。

見守り隊にはたくさんの方がボランティアとして参加してくださっているので、まだ一度もお話をしていない見守り隊の方も数多くいらっしゃって、心苦しく思っています。今回の小山田地域の交流会では、多くの見守り隊の方々ともお話をさせていただくことができました。その中で、見守り隊の方々から聞くことができたのが「あいさつが上手になりました」という声です。「あいさつしてくれるのでうれしいです」「みんながあいさつしてくれるようになって、とてもよくなっています」「子どもたちからあいさつしてくれるようになりました」「あいさつが上手になりましたね」など、子どもたちのあいさつをほめてくださいました。子どもたちの姿や成長をほめていただくのは、とてもうれしいことです。子どもたちのがんばりを認めていただいたような気持ちになります。

上記以外にも、下校中の接触事故が1件あったものの、命にかかわる大きな交通事故や不審者の被害事故は発生していないことが、交流会の中で話題にあがりました。このように、子どもたちが安全・安心に登下校できているのは、見守り隊の皆様のご協力をはじめとして、保護者の皆様のご協力、育成会の皆様のご協力、そして地域の皆様のご協力のおかげです。

小山田小の見守り隊の皆様は、ボランティアで、朝の登校時には交代で、交通量が多くて危険だと思われる場所や横断歩道近くに立って子どもたちを見守ってくださっています。また下校時には、子どもたちに付き添い、交通安全、防犯の面から子どもたちを見守ってくださっています。さらに、見守り活動と併せて、危険個所の点検や通学路の環境整備、看板設置、犬のふんの撤去などにも取り組んでくださっています。

育成会の皆様も、お忙しい中にもかかわらず、朝の登校指導を行って、子どもたちの安全を守ってくださっています。

そして今回の交流会で、多くの地域の皆様が、登下校時に、子どもたちの様子に関心をもって見守ってくださっていることがよく分かり、感謝の気持ちでいっぱいです。

子どもたちがよりよく学習したり、活動したりできるように、様々な場面で支援してくださっている地域の皆様、本当にありがとうございます。



登下校時の安全のために「手袋をすること」を話しています！

子どもたちの登下校時の安全確保のため、「すぐにできる」「誰にでもできる」安全を守る方法の一つとして、「手袋をすること」を話しています。

手袋をせずにポケットに手を入れて歩いていて、すべて転んだ際に手が出ず、前歯を折ってしまったという事案がありました。手袋をするだけで安全になります。

そこで、これからも繰り返し、「手袋をすること」を呼びかけていきます。

